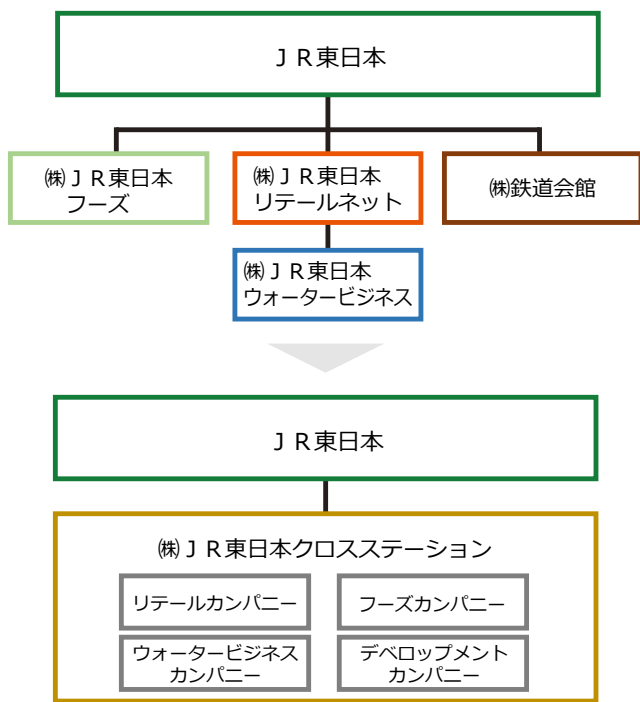


JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

JR西日本「鉄道カンパニー」設置

業務融合・組織再編攻撃に「反対」の声を



分社化・子会社化につながる攻撃

JR西日本は4月1日から鉄道事業にかかわるグループ会社を束ねる「鉄道カンパニー」を発足させました。鉄道本部長が鉄道カンパニー長を兼任し、「組織構造改革の到達点」と位置づけられています。

JR西日本ではすでに19年6月から「物販飲食」「ショッピングセンター」「不動産」「ホテル」の4事業を社内カンパニーに移行していました。

昨年は、中国統括本部設置や近畿統括本部改編などの組織再編が進められ、鉄道事業について

てもカンパニー設置の対象とされました。

鉄道部門の分社化・子会社化とJRのホールディングス（持株会社）化に向かう動きです。それは労働者の権利の破壊、労働条件の低下、技術継承と安全の崩壊に直結するものです。

鉄道業務軽視の矛盾に満ちた施策

JR東日本も21年4月にエキナカ事業に関連する子会社を統合し、社内カンパニー制を導入しています。そして、鉄道部門の組織再編が激しく進められています。

千葉では6月に幕張車両センター・京葉車両センターの首都圏本部所属、7月に全駅の（営業）統括センター化が狙われています。会社は「数年をかけて組織再編を行う」と宣言し、そこから再編や融合化をさらに進めようとしています。

しかし、会社の施策は万全ではありません。今回のダイ改で、検修部門を外注化したCTTSから入出区業務の一部がJR本体に戻されました。乗務員への労働強化、要員とコスト削減であると同時に、CTSプロパー社員の退職が止まらないことが背景にあります。

現場労働者と鉄道業務をあまりに軽んじる会社の施策は矛盾に満ちています。団結した声と闘い、職場に闘う労働組合を取り戻すことが攻撃を打ち破る力です。